

あきた 加工用ダイコン「秋田いぶりむすめ」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

本県を代表する特産品「いぶりがっこ」のブランド力を強化するため、栽培しやすく、幅広い消費者の嗜好に合うほどよい硬さの肉質を持つ加工用ダイコン品種を育成しました。

2 品種の特性・セールスポイント

- ① 8月下旬の播種で65日前後で収穫となりますが、本県で最も多く作付けされている民間品種「香漬の助」よりも肥大が緩やかなため、収穫遅れによるロスが少ないです。
- ② また、播種日をずらすことで、収穫適期が拡大できるため、長期にわたって計画的な収穫作業が可能となります。
- ③ 空洞症、曲根、裂根の発生が極めて少ないため歩留まりに優れています。
- ④ ダイコンの形は針形、最大根径は6cm程度で、抜き取りやすく機械収穫にも適しています。
- ⑤ 「いぶりがっこ」に加工した後の硬さは、軟らかい「香漬の助」と硬い「秋田いぶりおばこ」の中間で、幅広い消費者に受け入れられる適度な硬さです。

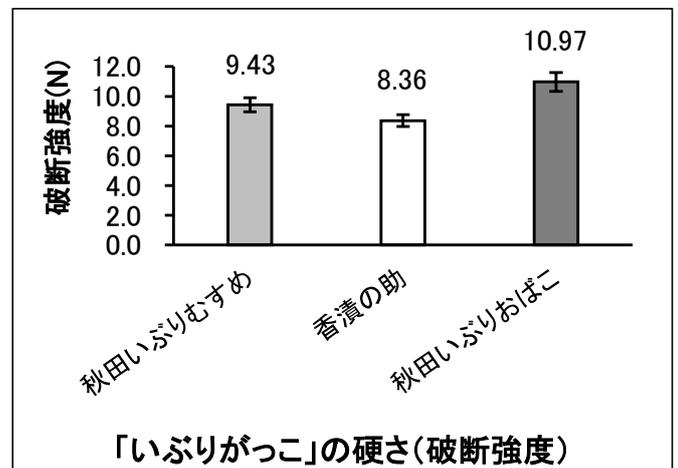


秋田いぶりむすめ

香漬の助

秋田いぶりおばこ

※白棒=5cm



3 育成経過

「香漬の助」から選抜した軟らかい系統(KO-3)と、民間品種「耐病干し理想」から選抜したやや硬い系統(HO-28b)をかけ合わせて育成したF₁品種です。

4 普及計画

現在、種苗を増殖中であり、令和9年からの種子販売を予定しています。

